

○ **はらまち九条の会** とは、超党派で憲法（特に第9条）を護って、「戦争をしない国・日本」をめざすという市民の会です。何の拘束もなく、年会費千円で、どなたでも自由に入会できます。結成は2005年12月。会員は原町だけでなく全国各地に420名。「九条の会」は全国に7,500、福島県内に100以上結成されていて、それぞれ自由に活動しています。皆さんの住んでいる町にもあるはずですよ。



＜新成人に配布号＞

# 九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 **No.177**

2012(平成24)年 1月8日(日)発行

## 成人 おめでとうございませう！

○昨年3月の大震災、大津波や原発事故などで、ご家族もご無事だったでしょうか。大変なご苦労をされ、心よりお見舞い申しあげます。

○ところで、大震災以後、被災や避難している私たちの人権が、大きく脅かされています。本来なら「憲法」で私たちの生活は守られ、保障されているはずの様々な権利が、今、軽視され脅かされています。

### 原発事故の被災や避難生活などで 私たちの「憲法」の生存権が脅かされています！

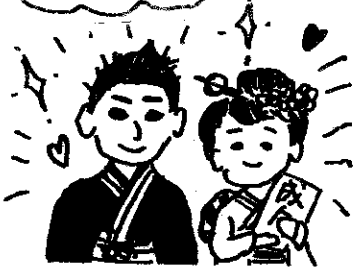
震災以後、特に原発事故による避難生活などで、私たち南相馬市民の被災民も、＜下記のような憲法の権利＞が軽視され、蔑ろにされ、脅かされ、放置されたままで、すでに棄民されているとさえ言われています。

- ① 恐怖と欠乏から免れ、平和に生存する権利（前文）、
- ② 個人としての尊重（13条）、
- ③ 生命、自由、幸福追求権（13条）、
- ④ 居住・移転・職業選択の自由（22条）、
- ⑤ 健康で文化的な最低限度の生活の保障（25条）、
- ⑥ 能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利（26条）、
- ⑦ 勤労の権利（27条）、
- ⑧ 財産権（29条）、
- ⑨ 環境権 など



成人になった機会に  
「憲法」のこれらの条文を  
読んでみましょう！

今日皆さんにプレゼント  
された『憲法』小冊子は、  
41年前の1971(昭和46  
年)に旧原町市が公費で  
発行し、当時の原町市の  
全家庭12,000戸に配布  
した『憲法』小冊子の  
複製版です。



▼これは4年前の2008年8月15日の終戦記念日に、原町区錦町の県道沿い、ココスさんの向かい側に建てられた看板です。多くの市民からのカンパで建てられました。日本の『憲法第9条』は、世界各国から平和の理想の条文になっていますが、日本人自身はそれに気づいていません。もう戦争などを行う時代ではなく、今こそ大地震や災害に備えておかなければいけません。

### 憲法第9条・戦争の放棄

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



### 世界は憲法9条をえらび始めた

あなたは9条を変えて戦争に行きますか？

はらまち九条の会

### アーサー・ビナート講演会「福は内！ プルトニウムは外！」

- 日時：2012年1月15日(日) 13:30～15:30
- 会場：(原ノ町駅前)南相馬市情報交流センターマルチメディアホール
- 主催：南相馬市国際交流協会 ● 協力：としょかんのTOMOみなみそうま
- 後援：南相馬市中央図書館・絵本と童話の会・はらまち九条の会



「震災の復興ぶり」で、世界に発信したいものです。

日本や世界に発信してきた南相馬市です

## 小高区 現在の憲法草案を起草した鈴木安蔵は小高出身です

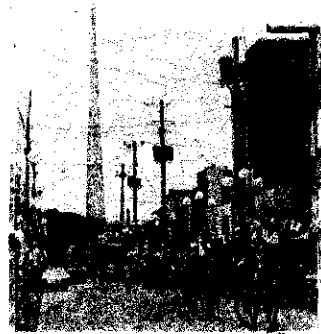


鈴木安蔵  
(1904~1983)

鈴木安蔵は1904(明治37)年小高町生まれ。相馬中学校(相馬高校)を卒業。第二高等学校(東北大学)、京都帝国大学に進学。日本初の「憲法学」を確立し、昭和20年の敗戦後、「憲法研究会」(会長高野岩三郎など7人)の中心人物として、現在の「日本国憲法」のモデルの「憲法草案要綱」を起草。国民主権の原則や、国民の社会権・生存権を規定するなど、重要な憲法の大原則を確立します。私たちの生活を支えてくれている「憲法」の創案者として、故郷の誇れる偉人です。2007年には、鈴木安蔵を主人公に映画『日本の青空』が制作され、小高神社も舞台になり相馬高校生も出演しました。

## 原町区 関東大震災を米国に第一報で伝えた無線塔

89年前の1923(大正12)年9月1日午前11時58分44秒、関東大震災が起こり、京浜地区の無線局は壊滅状態となります。当時原町にあった高さ200m、鉄筋コンクリート製の「無線塔」が震災の第一報をアメリカに発信し、アメリカをはじめ41カ国からの救援活動が開始され、たくさんの救援物資が届けられ、世界から脚光をあびます。無線基地の役割を終えても、原町のシンボルとなっていました。昭和56年、老朽化により解体されました。



東京で使われる電力が福島で作られていることと同様に、「無線塔」のこんな昔の業績を知る東京、横浜の人も少ないようです。

昭和56年、取り壊し直前の相馬野馬追祭時の「無線塔」(二上英朗著「原町無線塔六拾年史」より)▲

## 鹿島区 万葉の時代に上方に知られていた真野の萱原まののかやはら

「みちのくの真野の萱原遠けども おもかげにして見ゆというものを」笠女郎かさのいらつめ  
これは『万葉集』の恋愛の名歌で、笠女郎が大伴家持への思慕の情を、遠い「真野の萱原」(鹿島区)に託したものです。『万葉集』の奈良時代にすでに、この地方が中央に知られていたことを表しています。しかし、「真野」も大津波に襲われ、今は砂漠や原野のようになってしまいました。

### 「はらまち九条の会」の現在の活動状況

◆昨年9月から2種類の署名活動を行い、全国から多くの協力や支援が寄せられています。

#### ① 徹底した除染で子どもたちが安心して暮らせるまちに」の署名

★11月末まで<13,334筆の署名>が全国各地から集まりました。10月末に福島県知事と南相馬市長に、徹底した除染を早急に行うよう「要望書」を提出。★12月20日には「はらまち・小高九条の会」の代表5名が直接、東京都内幸町の東京電力本社を訪ね、青木岳洋支援総括部長に「署名」を手渡し、東電自身が早期に責任をもって徹底した除染を行うよう要求しました。<右写真>  
★野田総理には1月中旬に手渡して「要求」する予定です。



#### ② さようなら原発一千万署名 この署名は2月まで全国で展開されています!

★これは、ノーベル賞作家大江健三郎さんや坂本龍一さん、落合恵子さんらが呼びかけ人の、全国規模で今年2月まで行われている署名で、「脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める」ものです。

#### <「はらまち九条の会」事務局連絡先>

- 会長: 平田慶豊 TEL0244-24-1211
- 会計: 井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL0244-22-7511・FAX26-0892
- 石田賢二 TEL22-4037 ○早坂吉彦 TE22-0326
- HP担当: 大浦祥見(原町区)・佐藤喜彦(八王子市)
- 事務局長: 山崎健一 TEL090-7527-5453(神奈川県川崎市に避難中) ○番場恵子(市外に避難中)

◆本会が今日のように成人式に『憲法』小冊子を配るのは、今年で5年目(5回目)になります。

またご覧のような会報を月3号程度発行。毎年、平和のため講演会・展示イベントの開催・あさいち参加なども行っています。

◆子ども達が、平和のうちに、安全で安心して住める町にするのが、私たち大人の務めです。行動を起こさないと何も変わらないと考えています。

### 「はらまち九条の会」

検索

○創刊号から177号まで、すべての「会報」を見ることができます。